

08月16日(取次搬入)発売予定!

ウィリアム・ピーツ 著 杉本隆司 訳

# フェティッシュとは何か

—その問いの系譜

「フェティシズムはなくならないだろう」

デヴィッド・グレーバー(『負債論』著者)絶賛!

モノが信仰と欲望の対象となり、商品／貨幣となる—。西洋文明と「未開社会」の接触によって生まれた”フェティッシュ”と、その後、進化論的な宗教史観において、原始宗教として蔑まれた”フェティシズム”誕生の歴史を検証。フェティッシュとフェティシズムの起源から、価値創造の謎に迫る、記念碑的論文集、ついに邦訳!!

ウィリアム・ピーツ (William Pietz) 著

1951年アメリカ、マサチューセッツ生まれ。1988年、カルフォルニア大学サンタクルーズ校卒、哲学博士。アメリカ科学振興協会、アメリカ宗教学会会員。ピッツァー大学、ジョージタウン大学等で講師を務めるかたわら、ロサンゼルス緑の党の結成に尽力。

著書:『文化言説としてのフェティシズム』(コーネル大学出版、1993年、共著)

『新アジア・マルクス主義』(デューク大学出版、2002年、共著)

邦訳:「フェティッシュ」、加藤哲弘・鈴木廣之監訳『美術史を語る言葉—22の理論と実践』(星雲社、2002年、所収)

杉本 隆司 (すぎもと たかし) 訳

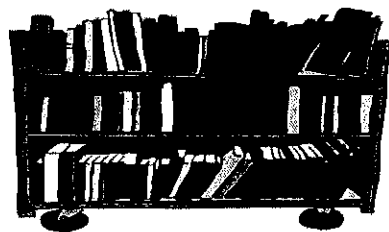
1972年生まれ。一橋大学大学院社会学研究科博士課程修了。博士(社会学)。仏ナンシー第二大学DEA課程修了。一橋大学大学院社会学研究科特別研究員を経て現在、明治大学政治経済学部専任講師。

著書:『民衆と司祭の社会学 近代フランス(異教)思想史』(単著、白水社)

『社会統合と宗教的なもの』(共著、白水社)、『共和国か宗教か、それとも』(同)

訳書:マチエ『革命宗教の起源』(白水社)、コント・コレクション全二巻(同)

ド・ブロス『フェティッシュ諸神の崇拜』(法政大学出版局、日仏社会学会奨励賞)他



【目次】

第一章 ヨーロッパ思想におけるフェティッシュ概念

第二章 フェティッシュの起源

第三章 ポスマンのギニアと啓蒙のフェティシズム論

原注

訳者解説

四六判 上製カバー装 216頁 本体価格:2,700円 (定価:2,916円)

希望陳列コーナー:現代思想・文化人類学

以文社 ISBN 978-4-7531-0347-8 C0010 本体価格:2,700円 (定価:2,916円)

帳合・番線	ご希望冊数	書名
		<p>フェティッシュとは何か</p> <p>—その問いの系譜</p> <p>ウィリアム・ピーツ 著 杉本隆司 訳</p>

※指定配本の都合上08月06日までにFAXまたは電話にてご返信お願い致します。